

# コンパクトクールキット 取扱説明書

製品番号	07-07-0284 (4フィン)
	07-07-0285 (3フィン)

適応車種	MAGNA50 (AC13-1000010～)
適応条件	弊社製ダイカストスペシャルクラッチカバー装着車

取り付けマウント位置：フレーム下  
オイル取り出し位置：スペシャルクラッチカバー  
ホース：ラバーホース

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。  
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎当製品を使用すると、マッドプロテクタが使用出来なくなりますが、車両走行上問題はありません。
- ◎弊社製スーパーオイルポンプキットのラインナップが有る車両に関しましては同時装着を推奨します。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。  
(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- オイルホースは走行の邪魔にならないように、またはマフラーと接触しないように取り回して下さい。  
(オイルホースが抜けたり、溶けたりするとオイル漏れによる出火やエンジントラブルの原因となります。)
- エンジン始動前には必ずオイル量を点検して下さい。オイル量が足りない場合はオイルを足して下さい。また、説明書、サービスマニュアル指定の交換時期、距離に達している場合はオイルを交換して下さい。

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容

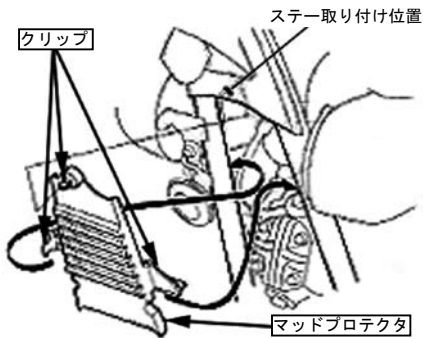


番号	部品名	個数	リペア品番
1	コンパクトツール (4フィン)	1	00-07-0104
	コンパクトツール (3フィン)		00-07-0124
2	バンジョー M12	2	00-07-0127
3	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0120 (シーリングワッシャ付)
4	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
5	オイルクーラスター	1	00-07-0191
6	オイルホース 1000mm	1	00-07-0018 (1000mm)
7	ホースクランプ	4	00-00-0052 (2ヶ入り)
8	オイルクーラスターカラー	1	
9	クッションラバー	2	00-00-0099 (4ヶ入り)
10	カラー	2	00-00-0476
11	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20	2	00-00-0084 (5ヶ入り)
12	ボタンヘッドソケットスクリュー 8x40	1	00-00-2558 (4ヶ入り)
13	プレーンワッシャ 8mm	1	00-00-0076 (10ヶ入り)
14	フランジナット 8mm	1	00-00-0275 (6ヶ入り)
15	結束バンド 200mm	1	00-00-0179 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませようお願い致します。  
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定させます。
- マッドプロテクタをフレームより取り外します。(マッドプロテクタは使用しませんので保管して下さい。)

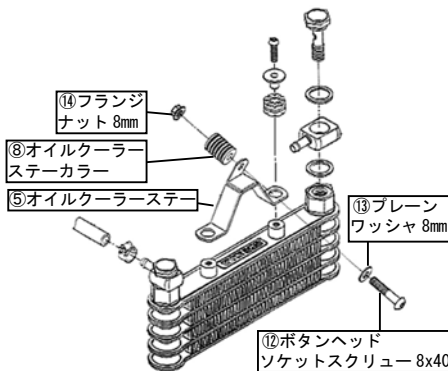


- ⑤オイルクーラスターに⑨クッションラバーを取り付け、⑩カラーを差し込みます。
- ⑪ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20を使用し、⑤オイルクーラスターを①コンパクトツール (以下オイルクーラー) に取り付け規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドソケットスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- マッドプロテクタのクリップが入っていた穴に⑤オイルクーラスターと⑧オイルクーラーステーカラーを間に入れて取り付け、⑫ボタンヘッドソケットスクリュー 8x40を規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドソケットスクリュー  
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



- ③バンジョーボルト M12x1.0 に④アルミシーリングワッシャ 14mm、②バンジョー M12、④アルミシーリングワッシャ 14mmの順で通しオイルクーラー側のシーリングワッシャがオイルクーラーヘッダー (6角部分) の凹部からずれない様に取り付けて仮締めします。  
※シーリングワッシャがずれた状態でバンジョーボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。

- ⑥オイルホース 1000mm を③バンジョーボルト M12x1.0 に取り付け⑦ホースクランプで固定し、ワイヤーハーネス、各ケーブルに無理のかからないように注意しながら取り回しクラッチ側のユニオン取り付け⑦ホースクランプで固定します。  
もう一方でも同じ作業を繰り返します。  
ホースが遊ばないように付属の⑮結束バンド 200mm で束ねホースの動きを規制します。  
※オイルホース差込時には、バンジョー側にオイルを薄く塗布して下さい。
- ⑥オイルホース 1000mm を取り付け②バンジョー M12の取り付け角度が決まれば、③バンジョーボルト M12x1.0 を規定トルクで締め付けます。  
※バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト  
トルク：24.5N・m (2.5kgf・m)

- エンジンオイルを3フィン：40cc/4フィン：60cc程度追加し、エンジンを始動します。  
各部分からのオイル漏れの有無を確認し終えたらエンジンを止め、約1分後にクラッチケースカバーのオイルポッドウインドでオイルの量を確認し、少ない場合は必ず補充して下さい。  
※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデータでアップしております。  
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

